

教育目標
 ひらこう世界へ
 のびようと
 つくろう夢を
 こえよう自分を

紙面から

学校創立から〇〇周年!、コミュニティ・スクール 他・1
 ひのっ子ががんばってます、就学相談……………2
 福祉教育ハートフルプロジェクト 他……………3
 学びのチャンスいろいろ……………4

学校創立から〇〇周年!

日野市立小・中学校では、学校創立から10年ごとの節目に記念行事を実施しております。

創立20周年 夢が丘小学校



本校は、昭和47年に開校した高幡台小学校と昭和52年に開校した程久保小学校が統合して、平成14年に「日野市立夢が丘小学校」として開校しました。校名は、2校の伝統を引き継ぎ、地域に愛され、子供たちが未来に向かって夢をもち、しっかりと羽ばたいてほしいという願いで名付けられました。学校のシンボルである校章は、校舎への入り口に七色の虹と共に描かれ、校歌にある「元気(クスノキ)」「本気(梅の木)」「勇氣(しだれ桜)」「根気(いちょう)」が敷地内に植えられ、子供たちの生活を見守っています。

また、本校は、インクルージョン教育を推進し、「共生社会・共生地域をつくる児童の育成『真に共に生きるまち』」を目指し、多様な他者と協働しながら主体的に地域に貢献していこうとする社会参画意識を高めています。

今後も、地域に根ざした学校として、地域・保護者の方々と連携し、人間性豊かな児童を育む教育活動を進めてまいります。



現在の新校舎に移転(平成16年1月5日)

滝合 コミュニティ・ 小学校 スクールを導入しました

滝合小学校は、令和5年1月10日から市内で3番目のコミュニティ・スクールとしてスタートしました。

コミュニティ・スクールが目指すのは、①「学校や保護者、地域住民のみんなが『当事者』として、自分たちの力で学校や地域を作り上げていくこと」、そして、②「子供たちのために学校を良くしたい、元気な地域を創りたい、そのような『志』が集まっていくこと」です。

滝合小学校では、これまでもお米作りや生き物の観察など自然環境を生かした学びのサポートをはじめ、放課後の補習教室、校庭一面の天然芝生やビオトープの維持・管理・運営など、保護者や地域の方々に様々な協力をいただけてきました。

新たにコミュニティ・スクールとして出発することを機に、学校運営協議会を中心として、学校環境の整備や児童の学びの支援、そして児童の安全・安心に向け、志高く取り組んでまいります。



校庭の田んぼで育てる緑米(5年生)



児童と学校のために委員一同つながります

学校課

スポーツをより身近に感じよう! 「ひのスポ!キックオフイベント」開催



令和5年1月21日、南平体育館において「ひのスポ!」のキックオフイベントを開催しました。「ひのスポ!」は地域の企業・大学・団体等が力を合わせ、学校だけでなく地域でも子供たちにスポーツを楽しめる環境を提供していこう、という新しい試みです。

近年、中学校の部活動では、少子化や指導者の不足により、活動を維持するのが難しい部が増えてきており、全国的な課題になっています。「ひのスポ!」は学校部活動が抱える課題を解決することを目標の一つとしています。

キックオフイベント当日には、市内から集まった小学校5・6年生と中学生、合わせて43人が、スポーツを楽しみました。「ひのスポ!」では、令和5年4月以降、子供たちが継続してスポーツを行える環境を提供していきます。



ひのっ子作品展



令和5年度の「ひのっ子作品展」は、3月24日までオンラインで開催します。閲覧は市立幼稚園、小学校の保護者等に限定させていただきます。ご了承ください。

ひのっ子ががんばっています



日野第四小学校

シェフコンテスト金賞&特別賞



6年生の小松瑠菜さんが、「ひのっ子シェフコンテスト」ダブル受賞の快挙です!「将来の夢は管理栄養士です。特別賞として自分の献立が全小中学校の給食にしてもらえることが、うれしいです。今回は冬瓜を使いました。栄養たっぷり野菜を使った料理を、みんなが美味しいと言ってくれたらうれしいです。」

日野第七小学校

ロードレース大会で大活躍



昨年12月に行われた「ロードレース大会」。福田結さん(右から2番目)は、9大会ぶりに小学6年女子の部で大会記録を更新して1位になりました。また、大網沙桜里さん(右)も小学5年女子の部で1位に、6年生の外山蘭子さん(左から2番目)・梅田佳歩さん(左)も8位以内に入賞するなど、素晴らしい活躍を見せてくれました。

旭が丘小学校

合唱団 2年連続金賞 ~全日本合唱コンクール~



昨年11月13日に大阪府堺市で開催されました。長旅を伴うコンクールでしたが、疲れを見せず本番では一番の歌声を響かせ、昨年度に引き続き金賞を受賞しました。

仲田小学校

MOA美術館児童作品展 受賞



3年生の伊藤才鶴さんは、MOA美術館児童作品展に、「夜空水族館」という絵画作品を出品し、全国展銀賞・東京都教育委員会賞・日野市長賞を受賞しました。この作品は、「夜の街を描き、途中で空がさみしいという思いから、空に三日月とイルカを描き足した」そうです。更なる活躍を期待しています。

七生緑小学校

菊の花 市議会議長賞受賞



あおぞら学級で育てた菊が、市の菊花コンテストで市議会議長賞を受賞しました!毎日お世話を欠かさず心を込めて育てた花が色鮮やかに咲き、多くの人に観てもらえたことに大喜びでした。副賞のチューリップの球根も、きれいな花を咲かせようと、わくわくしている子供たちです。

日野第一中学校

陸上競技部 関東大会出場



陸上競技部が東京都代表として、第31回関東中学校駅伝競走大会に出場しました。八王子市の上柚木公園陸上競技場及び周辺コースで開催され、東京都の代表として選手は力走を見せてくれました。結果は第26位、記録1時間1分11秒でした。

日野第一中学校



オリパラレガシー教育

谷本歩実さん(柔道)、日野レッドドルフィンズの選手7名(ラグビー)、日本大学の犬嶽真人先生(ブラインドサッカー)、ヨーコ・ゼッターランドさんと櫻井由香さん(バレーボール)にご来校していただき授業を行っていただきました。生徒にとって、充実した時間と機会になりました。

三沢中学校

卓球部 男子団体優勝・女子同準優勝



卓球部は、第7ブロック日南地区新人卓球大会において、男子団体優勝、女子団体準優勝を成し遂げ、続いて1月に行われた日野市中学生卓球大会においては、ついに男女共に団体優勝を達成することができました。男女一緒に練習する機会が多く、お互い頑張ってきた成果が表れた大会でした。卓球部は、今後もますます男女そろって活躍していきます!

日野第四中学校



紫波三中交流会

旭が丘商工連合会主催「第15回たきび祭」にて日野市との姉妹都市である紫波町立紫波第三中学校との交流会を行いました。当日は紫波三中の生徒会長、副会長、本校生徒会役員とで紫波三中の生徒が作ったお米の販売を行いました。大変好評で200kg分が1時間足らずで完売しました。

女子テニス部 日南大会優勝



女子テニス部は昨年11月に行われた日南新人団体戦で、見事優勝を果たしました。コロナ禍であることや、天候に左右され思うように活動できない中、普段の活動の成果を発揮し三沢中史上初の栄冠に輝いたことで、選手たちの顔も晴れやかでした。次のステップに向け、更なる進化を目指して頑張っています。

就学相談を受け付けています



令和6年度小学校又は中学校への就学・進学へ向けて、学習面や集団生活などで困り感があるお子さま、発達上気になる様子や行動が見られるなどのお子さまが、適切な教育を受けることができるにはどのような教育環境で学ぶのが望ましいのか、就学相談員が保護者の方々に必要な情報を提供し、丁寧な相談を進めていきます。特別支援学校・特別支援学級・特別支援教室への入学、入級、入室をご検討の場合は、必ずご相談ください。

- 対 令和6年度小学校又は中学校へ就学・進学を予定されているお子さまの保護者の方
- 他 事前予約制
- 申 令和5年8月31日(木)までに電話又はFAXにて
- 問 日野市発達・教育支援センター「エール」
発達・教育支援課
(☎042-589-8877・FAX042-514-8740)

発達・教育支援課

障害福祉課

福祉教育ハートフルプロジェクトが始まりました！～誰にとってもやさしいまちを目指して～

日野市では令和2年4月に「日野市障害者差別解消推進条例」がスタートし、障害差別の解消に向けた様々な取組を行っています。その中でも、子供たちに対して、一人一人の多様性や違いを大切に、お互いを認め合える育ちを促すため、各学校の主体性を尊重した福祉教育を進めています。

問 障害福祉課 (☎042-514-8991)

福祉教育ハートフルプロジェクトについて

「福祉教育ハートフルプロジェクト」とは何ですか？



日野市独自の福祉教材(ハートフルブック)を通じて、子供たち一人一人が、周りを理解し、お互いを認め合い、そして自分自身を知ることができるとを目的に、実行委員会をつくって福祉教育に関する意見交換などの活動を行っています。

<実行委員会の構成>
障害当事者、学校の先生、特別支援学校の先生、日野市社会福祉協議会、市教育委員会、市障害福祉課

令和4年度 福祉教育パートナー校

日野第五小学校での取組をご紹介します！

令和4年度は、「福祉教育パートナー校」として日野第五小学校にご協力いただき、4年生を対象に、「ハートフルブック」を活用した授業を行ったり、障害当事者をはじめとする様々な方からお話を伺ったりすることで、「多様性」や「違い」について考えるきっかけ作りを行いました。

時期	主な取組
7月	視覚障害のある方との交流 ハートフルブックを活用した授業
9月	アイマスク体験
10月	片耳難聴の当事者との交流(オンライン) 車いす利用者との交流・車いす体験
11月	学習発表会で手話披露(子供たちから発案) 精神障害のある方との交流
12月	認知症家族の方との交流 児童報告会(これまで学んだことの発表)
1月	LGBTQの方との交流
2月	知的障害のある方との交流

視覚に障害のある方との交流とアイマスク体験



パソコンの読み上げ機能を使った仕事などについて紹介していただきました。また、子供たちがアイマスクと白杖を使ったアイマスク体験を行いました。

ハートフルブックを活用した授業



自分の幸せや、平等・公平などについて、ハートフルブックを使って授業を行いました。

車いす利用者の方との交流と車いす体験



社会モデルの考え方やお互いの違いを認められる人になってほしいなどのメッセージをいただきました。また、実際に車いすを使い、坂道や砂地での移動の困難さを体験しました。

精神障害のある方との交流



当事者の方から、ご自身の体験や周りに求める支援などについてお話を伺いました。

認知症家族の方との交流



認知症のご家族がいらっしゃる方から、認知症の種類や介護の体験などを紹介していただきました。

LGBTQの方との交流



お互いの違いを大切にすることで相手も自分も大切にできることなどを、ご自身の体験なども踏まえてお話を伺いました。

学習発表会での手話披露



子供たちからの発案で音楽に合わせた手話を披露しました。

交流や体験を通じた子供たちの感想

障害当事者をはじめとする様々な方との交流や体験を通じて子供たちが感じたことなどを発表しました。

- アイマスク体験を通じて、視覚に障害のある人には具体的な声かけが必要なのことが分かった。
- ヘルプマークをつけている人や困っている人がいたら積極的に声をかけていきたい。



子供たちの発表の様子

- 相手がうれしい気持ちになる声かけを意識したい。
- 車いすを利用して人が自由に生活できるまちにしたい。

日野第五小学校での取組を受けて

福祉教育ハートフルプロジェクトをコーディネートしてくれている日野市社会福祉協議会の宮崎さんにお話を伺いました。



日野市社会福祉協議会の宮崎さん

障害当事者をはじめとする様々な方のお話やいろいろな体験を通じて学んだことを、是非地域の中で発揮してもらい、一人一人が社会を変えられる存在になってください。

(仮称)子ども包括支援センター みらいくって何だろう？ 問 子ども家庭支援センター(☎042-599-6670)

(仮称)子ども包括支援センター みらいくって何ですか？



あかちゃんと保護者の遊び場、中高生の居場所【ポイント1】、子供の悩みを気軽になんでも相談できる場所【ポイント2】です。場所は右の地図を見てね。

「みらいく」ってどんな意味ですか？

- ①子供の「未来」を支援する
- ②身(自分・Me) Like→自分を好きになる
- ③未来を育む という意味です。



○R6年度初め頃オープン予定です。(建設中)



(仮称)子ども包括支援センター みらいく

【ポイント1】中高生世代の居場所

無料の自習スペース、定期的な学習支援、中高生世代が楽しめるイベントを行います。中高生世代がリラックスできる居場所にしていきます。

【ポイント2】子供の悩みを気軽になんでも相談できる場所

子供から、メール・対面などで気軽に悩みを相談できる窓口です。保護者からも相談OKです。困ったときはまずご相談を。



中央図書館

中学生と作家の交流事業2022 「開けてみよう本の扉を いっしょに行こう読書の世界へ～汐見夏衛さん講演会～」を開催しました!



市内中学校に通う25名の中学生が会議を重ねて企画し、令和4年11月6日平山季重ふれあい館にて開催された講演会では、当日の司会進行も務めました。

中高生をはじめとした10代を中心に、今、大人気の作家 汐見夏衛さんによる講演のほか、中学生企画のコーナーでは汐見さんにまつわるクイズ、作品にちなんだ掌編物語の発表を行いました。来場者アンケートでも「面白かった。」「考えがたくさんつまったものになっているなと思った。」と多くの好評の声をいただきました。

講演会終了後の汐見さんとの交流会では、「恋愛作品で体験はどれくらい入っていますか?」「影響を受けた本はありますか?」など興味深い質問がたくさん飛び交いました。



問 中央図書館 (☎042-586-0584)

ふるさと文化財課

上人塚



日野自動車の構内には、上人塚という塚があります。大きさは約25m四方、高さは4mほどです。

元禄16年(1703年)の『挨拶目録』という文書に「請人塚」と書かれているので、このころにはす

でにあったことが分かります。

塚の由来にはいくつかの説があります。一つは今からおおよそ450年前に日野用水を拓いて日野の発展の基礎を築いた佐藤隼人の業績を記した書類を埋めたという説です。また、この一帯が荒れ野だったころ、タヌキが上人(高僧)に化けてこの塚の近くに現れ、甲州街道を行く人々をだましたため、という説もあります。

この上人塚では、平成19年に全体の1/4を切り開く調査が行われました。その結果、塚の中心部は離れた場所から運ばれた黒土だけで作られ、何も埋められていないことが分かりました。このため、黒い土で土盛りを築くことに意味があり、この場所を治めていた武士たちの領地を示すために築かれたと考えられています。

日野台地にはほかにも、まつり塚や富士塚といった塚が残っています。これらは工場の敷地内にあり、普段は見ることができませんが、ふるさと文化財課では年に一度、これらの塚を巡る「塚つかウォーク」という見学会を行っています。興味のある方は参加してみてくださいいかがでしょうか。

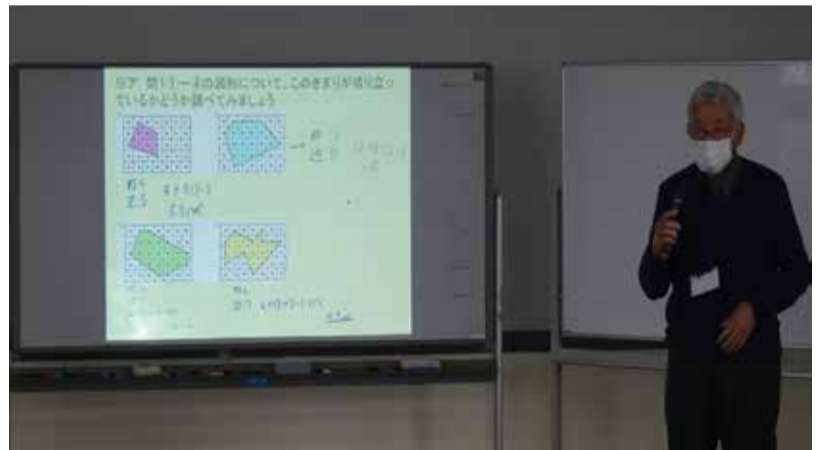
問 ふるさと文化財課 (☎042-583-5100)

学びのチャンスいろいろ



「算数って楽しいなあ…!」算数大好きプロジェクト「小学生土曜算数教室」(地域学校協働活動推進事業)を開催

生涯学習課



市内小学校6年生を対象として、元帝京大学客員教授廣田敬一先生を講師に土曜算数教室を日野市立教育センター講堂において開催しました。

今年度は3年ぶりに全10回の教室を開催することができました。少し手ごたえのある問題を、じっくり考えて解決方法を発見することで、算数を学ぶ楽しさを体験することができました。

この教室は、夢が丘小学校地域学校協働本部との連携により実施しました。

問 生涯学習課 (☎042-514-8765)



中央公民館

第16回ひのっ子シェフコンテストを開催しました

市内の小学生が地場産食材を活用したレシピを考え調理する料理コンテストを行いました。

今年は34作品53人から応募があり、一次選考で選ばれた5組6人の児童が腕を振るい、おいしい料理を作りました。

シェフコンテストのレシピが給食のメニューになるのが楽しみです。

問 中央公民館 (☎042-581-7580)



参加児童と記念写真

第16回 ひのっ子シェフコンテスト入賞作品



金賞 及び 栄養士と給食調理員が選んだ特別賞
イタリアン風!
トマト×ミルクの冬瓜にこみうどん

私が考案しました! 日野第四小学校 6年 小松 瑠菜さん

